

第5回相談支援部会

日時	平成21年10月23日(金) 10:00~12:00
場所	障害者支援センター松が丘園
出欠	出席10名・欠席1名
議事	<p>1 平成21年度第1回全体会(10/2開催)の報告</p> <p>2 ワーキンググループからの報告及び協議</p> <p>(1) Aグループ「相談支援の手引き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月28日と10月8日の2回開催。 ・手引き作成の背景について、どこに相談にいけばいいかわからない、地域資源が見えないなどの課題解決のために作成することを確認した。 ・初回は、手引きに対する各自のイメージが違ったので、方向性をまとめる必要があった。 ・福祉のしおりや行政が作成している手引き等と区別したものを作る必要がある。 ・それをみて、相談にいつてみようか、と思えるものが良い。 ・相談窓口で、どんなことに相談にのってくれるのか、どんなことをしてくれるのか、が分かると相談者は安心する。 ・相談を受けた後の“つなぎ”をどうすればいいかわからない。 ・行政、民間等の連携の助けになるような内容が良い。 ・行政は、民間の相談支援事業所を、「身近な相談窓口」と位置づけているが、周知不足のためか、多くの市民は、そこがどんな相談を受けてくれるのか知らないし、行政にも知らない担当者がいるようだ。 ・相談支援事業所がメインとなる内容としてはどうか。 ・相談支援事業所はどんなところか、を理解してもらおう。 ・相談事業所のPRと利用促進、相談事業所間の共通認識 ・得意・不得意あるので、得意分野を明記 ・場所、写真など、視覚情報を盛り込む ・構成上の留意点は、相談したい人が見た時に、分かるような例示をする。 ・相談支援事業所の理解と協力をどこまで得られるのか、例示はどこまで記載できるのか、地図、イラストをだれが作るのか、などの具体的なことは次回検討。

(2) Bグループ「相談支援の質の向上」

- ・ 9月25日、10月7日の2回開催。初回は、相談支援の質の向上のために、各所で行っている取組みについて情報交換をした(新人指導、研修、事例検討、啓発等)。
- ・ ワーキングでは、個々がスキルアップできるような、例えば、研修の仕組みを検討すること、また、“地域の相談支援力の底上げ”を大きな視点として、話し合っていくこととする。
- ・ そうなると、連携、分野を超えてのチームアプローチ、ネットワークの構築など課題もみえてくる。
- ・ ネットワークとは、顔の見える関係。いかに相談を「つなぐ」かが重要。“つなぐ”方策を2回目以降は、検討をしていく。
- ・ 旧津久井郡4町エリアでは、「津久井地域障害者ネットワーク会議」を11月に正式にスタートさせる。地域の課題を共有、解決出来る体制をつくりたいというのがねらい。自立支援協議会と連携をとってやっていけると思う。
- ・ 政令指定都市移行後、3区に分かれる。区ごとに、中心となる事業所を置いて、ネットワーク会議の中核になってはどうか、という意見もあった。
- ・ 相談支援事業所は、補助事業で、専任の相談支援専門員を配置しにくい現状。兼任のため、相談に専念できない環境があるということも分かった。
- ・ 今後の議論は、研修の仕組みとネットワーク構築が中心となる。現場の力をどう底上げするかで、地域全体の底上げにつながる。

3 次回の議題について

以 上